

鳥栖市環境事業計画書（中間点検）

第1回環境審議会開催時(平成28年12月2日)の時点では、平成28年度実績が不明だったが、新たにH28年度実績があがったもの、若しくは変更があったものを赤字で示している。

本計画書は、「環境を守り、育て、子どもたちに引き継ぐための計画 ～第2次鳥栖市環境基本計画～」の「取組の柱」及び「取組の方向性」ごとに、鳥栖市行政が実施する環境事業をまとめたものです。

【各項目の説明】

事業名	実施した事業名												
担当課	事業を担当する課。												
事業内容	実施した事業内容。												
取組で重視する3つの視点	<p>計画に記載されている「取組で重視する3つの視点」について。各項目については下記のとおり。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>取組で重視する3つの視点</th> <th>項目</th> <th>内容 (該当すれば記載)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子どもたちも参加しよう！</td> <td>子ども (子どもたちも参加できる事業)</td> <td>子どもたちに参加してもらう目的</td> </tr> <tr> <td>他の主体と協働しよう！</td> <td>協働 (協働で行う事業)</td> <td>協働の対象と形態</td> </tr> <tr> <td>積極的に情報発信しよう！</td> <td>情報 (情報発信を行っている事業)</td> <td>情報発信の方法</td> </tr> </tbody> </table>	取組で重視する3つの視点	項目	内容 (該当すれば記載)	子どもたちも参加しよう！	子ども (子どもたちも参加できる事業)	子どもたちに参加してもらう目的	他の主体と協働しよう！	協働 (協働で行う事業)	協働の対象と形態	積極的に情報発信しよう！	情報 (情報発信を行っている事業)	情報発信の方法
取組で重視する3つの視点	項目	内容 (該当すれば記載)											
子どもたちも参加しよう！	子ども (子どもたちも参加できる事業)	子どもたちに参加してもらう目的											
他の主体と協働しよう！	協働 (協働で行う事業)	協働の対象と形態											
積極的に情報発信しよう！	情報 (情報発信を行っている事業)	情報発信の方法											
H28年度までの目標	計画の改訂年度であるH28年度までの目標。												
過去の実績	目標について、過去5年間の実績。参考値等は括弧書きで示す。												
事業評価	事業についての担当課からの評価。												

廃止事業一覧

取組の柱	廃止事業	事業内容	廃止理由	補足	廃止年度
4 住環境を守る 5 地球温暖化を防ぐ	鳥栖市特別乗車事業	交通渋滞の緩和と、高齢者の移動手段の確保のため、高齢者に対し西鉄バス佐賀が運行する市内路線バスの乗車を無料にします。	H24年10月より「福祉乗車券助成事業」を開始したため廃止した。		平成24年度
5 地球温暖化を防ぐ	住宅用太陽光発電システム設置費補助	住宅用太陽光発電システム設置費の一部を補助します。	導入コストが下がっていること、及び、補助実施前と実施後で設置件数の顕著な増加は見られなかったことから、H24年度のみ実施。		平成25年度
2 水を大切にす る	水質保全のための広域行政との連携	筑後川の水源保全、水質保全のために流域市町村と連携し、広域行政組織を設置します。	筑後川水源保全推進協議会設立準備会によって、流域圏の全自治体に参加要請されてきたが、水源保全の重要性に関する認識は一致するものの、各自治体筑後川との関連性の相違や、費用負担等の面から流域全自治体の合意は難しく、早期の協議会設置は困難な状況であるため。		平成27年度

【取組の柱1 みどり・生き物を大切に】

◆山林・丘陵などの保全、自然環境と調和した市街地形成

状況	事業名 担当課	事業内容	取組で重視する3つの視点		H28年度までの目標			事業評価	
			項目	内容	過去の実績				
継続	森林保全の推進 農林課	森林保全の啓発活動を行います。	子ども	森林保全の意識を育む	参加者数を60人以上にする			市制60周年記念事業の一環として開催した鳥の日のイベントはH27年度に廃止したが、H28年度は紅葉ふれあいイベントを開催した。	
			協働	九千部クラブに委託	H24年度	38人	H28年度		120人
			情報	市報、ホームページ	H25年度	35人			
				H26年度	87人				
				H27年度	中止				
継続	都市計画による規制・誘導 まちづくり推進課	自然環境と都市機能が調和した住みやすいまちづくりのため、区域区分及び用途地域等による規制と誘導を行います。	子ども		毎年度実施する			区域区分及び用途地域等を継続的に適用し、建築物等の規制と誘導を行い、適正な都市計画の運用を行うことができた。	
			協働		H24年度	実施	H28年度		実施
			情報	ホームページ、パンフレット、窓口での案内	H25年度	実施			
				H26年度	実施				
				H27年度	実施				

◆街なかの緑の保全・創出

状況	事業名 担当課	事業内容	取組で重視する3つの視点		H28年度までの目標			事業評価	
			項目	内容	過去の実績				
継続	環境保全等奨励金の交付 商工振興課	「鳥栖市事業所等の立地奨励に関する条例」に基づき、流通業務団地へ進出する流通関連施設設置者が緑地等を整備した場合に奨励金を交付します。	子ども		毎年度実施する			企業の進出時期により、交付時期については、偏りがあるものの、ほぼ毎年度交付実績があり、流通業務団地の緑地等の整備に寄与しているものと考えられる。	
			協働	対象企業に補助	H24年度	実施1社	H28年度		実施0社
			情報		H25年度	実施2社			
				H26年度	実施6社				
				H27年度	実施1社				
継続	花の日のイベント 維持管理課	5月の第4日曜日を「花の日」とし、花の絵・花壇コンクール入賞者の表彰式、花苗・肥料等の無料配布、フラワーアレンジメント、ガーデニング教室等を行います。	子ども	自然保護意識、緑化意識を育む	参加者数を1,300人以上にする			H28年度は他のイベントと同時開催したことで参加者が増えた。担当課の負担が大きく、今後どのようにしていくかが課題。	
			協働	鳥栖市花とみどりの推進協議会と共催	H24年度	1,000人	H28年度		6,000人
			情報	市報、ホームページ、広報紙	H25年度	1,000人			
				H26年度	1,500人				
				H27年度	1,000人				
継続	名木樹等の指定 維持管理課	名木樹等を指定し、保存します。	子ども		指定本数を100本以上にする			樹齢が重なるにつれて全体的に管理の負担が大きくなっているのが課題。また、近年申請がないのも課題。	
			協働		H24年度	102本	H28年度		99本
			情報	ホームページ、窓口に掲示	H25年度	99本			
				H26年度	99本				
				H27年度	99本				
継続	緑化推進状況の広報 維持管理課	緑化事業の内容や、地元やボランティア団体の緑化推進の活動状況を広報紙「緑化だより」等で紹介します。	子ども		広報紙発行回数を年間2回以上にする			チラシの内容で問い合わせがあるなど、緑化推進の意識向上に一定の効果があると思われる。今後も継続していきたい。	
			協働		H24年度	2回/年	H28年度		2回/年
			情報	市報、ホームページ、広報紙	H25年度	2回/年			
				H26年度	2回/年				
				H27年度	2回/年				
継続	人生記念樹の贈呈 維持管理課	市民の出生を祝って記念の苗木（もちの木、さざんか、つじ、もくせい）を贈り、緑化啓発と郷土緑化推進を図ります。	子ども		申込者数を年間500人以上にする			家の庭等に植樹してもらうことで一定の効果があると思われる。少子化により申込者が減少しているのが課題。	
			協働		H24年度	406人/年	H28年度		未確定
			情報	対象者に案内	H25年度	418人/年			
				H26年度	350人/年				
				H27年度	326人/年				

◆自然や生き物に親しむ機会・場所・きっかけづくり

状況	事業名 担当課	事業内容	取組で重視する3つの視点		H28年度までの目標			事業評価	
			項目	内容	過去の実績				
継続	自然観光施設の利用促進 商工振興課	自然観光施設（御手洗の滝、沼川河川プール、四阿屋等）を適切に整備・管理し、利用促進を図ります。	子ども		親水施設来場者数を年間48,000人以上にする			情報発信を行い集客に努めたが、8月末の天候不順により目標にわずかに届いていない。今後は、駐車場整備等の利便性向上を検討したい。更なる情報発信に努めたい。	
			協働		H24年度	45,831人	H28年度		45,624人
			情報	市報、ホームページ	H25年度	43,739人			
				H26年度	20,334人				
				H27年度	34,134人				
継続	親子で川の生き物調査隊 環境対策課	小学生とその保護者を対象とし、河川水質の指標となる水生生物を調査します。また、基山町と連携し開催することで、両市町民の交流の場としての効果も期待します。	子ども	水質に関する理解を深める	参加者数を年間60人以上にする			年2回のうち1回が雨天中止となる年は、どうしても参加者が少なくなった。H27年度は目標を達成した。今後も事業を継続していきたい。	
			協働	鳥栖市環境保全協議会と共催	H24年度	56人	H28年度		52人
			情報	市報、ホームページ、窓口に案内設置、小学生に案内配布	H25年度	42人			
				H26年度	24人				
				H27年度	67人				
継続	鳥の日のイベント 森林保全の推進 農林課	愛鳥週間の日曜日を鳥の日とし、市民と共にパートナーウォッチング等を行います。	子ども	野鳥保護意識を育む 森林保全の意識を育む	参加者数を60人以上にする			市制60周年記念事業の一環として開催した鳥の日のイベントはH27年度に廃止したが、H28年度は紅葉ふれあいイベントを開催した。	
			協働	九千部クラブに委託	H24年度	38人	H28年度		120人
			情報	市報、ホームページ	H25年度	35人			
				H26年度	87人				
				H27年度	中止				
継続	公園・緑地施設の整備点検 建設課	公園緑地の安心安全のため施設の整備・点検を行います。	子ども		巡回回数を月間2回以上にする			点検の不備による事故の報告はなく、安心安全を確保していると思われる。2回以上点検している箇所が増えている。今後も継続して行っていく。	
			協働		H24年度	月間1回	H28年度		月間1回
			情報		H25年度	月間1回			
				H26年度	月間1回				
				H27年度	月間1回				

【取組の柱2 水を大切に】

◆節水意識の向上

状況	事業名 担当課	事業内容	取組で重視する3つの視点		H28年度までの目標			事業評価	
			項目	内容	過去の実績				
継続	浄水場見学会 事業課	浄水場見学会を行い、水道水の製造工程や水資源の有限性等を説明し、節水を啓発します。	子ども	水道水の製造工程を学んでもらう	毎年度見学会を実施する			毎年度小学4年生の授業の一環で浄水場見学会を行い、川の水が安全で良質な水道水となる過程を説明している。水資源の大切さを学んでもらうため、今後も事業を継続したい。	
			協働		H24年度	755人	H28年度		670人
					H25年度	569人			
情報	市報、ホームページ、報道機関への情報提供	H26年度	680人						
		H27年度	680人						
継続	水道週間 事業課	毎年6月上旬の「水道週間」にあわせ、小・中学校やまちづくり推進センターなどに水道週間ポスター・水道壁新聞を送付します。	子ども	水質保全や水の大切さを伝える	毎年度実施する			ポスター等を配布し、水道についての関心、興味をもってもらうことで、水質保全や節水につながっている。	
			協働		H24年度	実施	H28年度		実施
					H25年度	実施			
情報	市報、横断幕作成、窓口にチラシ設置	H26年度	実施						
		H27年度	実施						

◆排水などによる水環境への負荷の削減

状況	事業名 担当課	事業内容	取組で重視する3つの視点		H28年度までの目標			事業評価	
			項目	内容	過去の実績				
継続	環境保全協定 環境対策課	事業者と環境保全協定を締結し、水質汚濁防止を推進します。	子ども		毎年度実施する			環境保全協定の締結を要望する事業者がある場合は、その都度、環境保全協定を締結している。公害防止の観点からも有用なので、今後も続けていく。	
			協働		H24年度	実施3社	H28年度		実施3社
					H25年度	実施1社			
情報		H26年度	実施3社						
		H27年度	実施1社						
継続	エコファーマー 農林課	「鳥栖市環境保全型農業推進方針」に基づき、エコファーマーの育成、有機栽培、低農薬栽培等を進めます。	子ども		エコファーマーの取得件数を25件以上にする			安心して食べることができる農作物を消費者に提供するため、今後も農業者に対して、エコファーマーや有機栽培、低農薬栽培等を周知するように努める。	
			協働		H24年度	18件	H28年度		未確定
					H25年度	34件			
情報		H26年度	37件						
		H27年度	36件						
継続	水洗化の促進 事業課	河川環境の向上のため、文書及び訪問により、各家庭や事業場の水洗化を促進します。	子ども		水洗化世帯数を90.0%以上にする			水洗化世帯は目標値の90.0%を超えており、促進の効果が出ている。	
			協働		H24年度	87.3%	H28年度		未確定
					H25年度	88.5%			
情報	ホームページ	H26年度	90.2%						
		H27年度	90.9%						
継続	公共下水道についての住民説明会 事業課	公共下水道事業認可区域の住民を対象に、排水浄化の流れや施設使用方法等を説明します。	子ども		下水道整備の際に実施する			対象の世帯が少なくなってきたため、説明会は実施せず、戸別に説明を行っている。	
			協働		H24年度	実施	H28年度		未実施
					H25年度	実施			
情報	説明会	H26年度	未実施						
		H27年度	未実施						
継続	浄化槽設置への補助金交付 事業課	公共下水道事業認可区域や、農業集落排水整備区域を除く地域の方が浄化槽を設置された場合に、補助金を交付します。	子ども		毎年度実施する			毎年1件以上の浄化槽設置の補助をしており、区域外の水質改善に寄与している。	
			協働		H24年度	実施2件	H28年度		実施1件
					H25年度	実施1件			
情報	市報	H26年度	実施1件						
		H27年度	実施1件						
継続	公共下水道の整備 事業課	「佐賀県下水道等整備構想」に基づき公共下水道の整備を行うとともに、公共下水道未整備区域については年次的に整備を行います。	子ども		毎年度実施する			未整備区域について、毎年整備を行っており、H32年度末には整備を終える予定である。	
			協働		H24年度	実施	H28年度		実施
					H25年度	実施			
情報	ホームページ	H26年度	実施						
		H27年度	実施						

◆水環境の調査・監視

状況	事業名 担当課	事業内容	取組で重視する3つの視点		H28年度までの目標				事業評価
			項目	内容	過去の実績				
廃止	水質保全のための広域行政との連携	筑後川の水源保全、水質保全のために流域市町村と連携し、広域行政組織を設置します。	子ども		毎年度実施する				筑後川水源保全推進協議会設立準備会によって、流域圏の全自治体に参加要請されてきたが、水源保全の重要性に関する認識は一致するものの、各自治体筑後川との関連性の相違や、費用負担等の面から流域全自治体の合意は難しく、早期の協議会設置は困難な状況である。
	協働		関係自治体と情報交換、実績調査	H24年度	水質保全 組織設立 準備	H28年度	—		
総合政策課	情報		H25年度						
					H26年度				
					H27年度	—			
継続	水質の環境調査・監視	河川や地下水等の水質環境調査を定期的実施し、水環境の監視を行います。	子ども		毎年度実施する				水質検査を行うことで、環境に異常が出て、素早く察知できるため、今後も監視していきたい。
	協働			H24年度	実施	H28年度	実施		
環境対策課		情報	ホームページ	H25年度	実施				
				H26年度	実施				
				H27年度	実施				

◆水辺の生き物とふれあい、守る機会の増加

状況	事業名 担当課	事業内容	取組で重視する3つの視点		H28年度までの目標				事業評価
			項目	内容	過去の実績				
継続	自然観光施設の利用促進	自然観光施設（御手洗の滝、沼川河川プール、四阿屋等）を適切に整備・管理し、利用促進を図ります。	子ども		親水施設来場者数を年間48,000人以上にする				情報発信を行い集客に努めたが、 8月末の天候不順により 目標にわずかに届いていない。 今後は、駐車場整備等の利便性向上を検討したい。更なる情報発信に努めたい。
	協働			H24年度	45,831人	H28年度	45,624人		
商工振興課		情報	市報、ホームページ	H25年度	43,739人				
				H26年度	20,334人				
				H27年度	34,134人				
継続	親子で川の生き物調査隊	小学生とその保護者を対象とし、河川水質の指標となる水生生物を調査します。また、基山町と連携し開催することで、両市市民の交流の場としての効果も期待します。	子ども	水質に関する理解を深める	参加者数を年間60人以上にする				年2回のうち1回が雨天中止となる年は、どうしても参加者が少なくなった。H27年度だけは目標を達成した。小学生に自然を守る大切さを学んでもらうため、今後も続けていきたい。
	協働		鳥栖市環境保全協議会と共催	H24年度	56人	H28年度	52人		
環境対策課		情報	市報、ホームページ、窓口に案内設置、小学生に案内配布	H25年度	42人				
				H26年度	24人				
				H27年度	67人				
継続	河川の清掃美化活動	市民や事業者に参加を呼びかけ、河川の清掃美化活動を行います。	子ども	河川に対する美化意識を育む	参加者数を年間600人以上にする				H25年度までは、河川清掃を2回実施し、H26年度からは1回に減らし、別の清掃イベントを行うようになったため参加者数は減少した。今後も事業を継続していきたい。
	協働		鳥栖市環境保全協議会と共催	H24年度	486人	H28年度	雨天中止		
環境対策課		情報	市報、ホームページ、全戸回覧、窓口にチラシ設置	H25年度	482人				
				H26年度	164人				
				H27年度	162人				

【取組の柱3 きれいな街なみをつくる】

◆市全域における景観保全の方針づくり

状況	事業名 担当課	事業内容	取組で重視する3つの視点		H28年度までの目標				事業評価
			項目	内容	過去の実績				
継続	景観保全先進事例研究 まちづくり推進課	景観保全の方針づくりのために先進事例を調査します。	子ども		毎年度実施する				専門家を含めた会議・勉強会での意見交換・講義等を実施してきたが、今後も継続していきたい。
			協働	関係団体との意見交換	H24年度	-	H28年度	実施	
					H25年度	実施			
					H26年度	実施			
		H27年度	実施						

◆景観や街なみの保全に対する関心・理解度の向上

状況	事業名 担当課	事業内容	取組で重視する3つの視点		H28年度までの目標				事業評価
			項目	内容	過去の実績				
継続	自然観光施設の利用促進 商工振興課	自然観光施設（御手洗の滝、沼川河川プール、四阿屋、とんぼ公園等）を適切に整備・管理し、利用促進を図ります。	子ども		親水施設来場者数を年間48,000人以上にする				情報発信を行い集客に努めたが、8月末の天候不順により目標にわずかに届いていない。今後は、駐車場整備等の利便性向上を検討したい。更なる情報発信に努めたい。
			協働		H24年度	45,831人	H28年度	45,624人	
					H25年度	43,739人			
					H26年度	20,334人			
		H27年度	34,134人						
継続	長崎街道まつり 商工振興課	長崎街道まつりの開催に協力し、市民が歴史・文化と触れ合う機会を創出します。	子ども	歴史を感じ景観に対する美化意識を育む	来場者数を5,000人以上にする				目標に届いていない年度が多い。情報発信の方法やイベント内容について、実行委員会できよく検討し、参加者の増加を図ってきたい。情報発信を行い集客に努めたが、天候不順により規模を縮小し実施したため目標に届いていない。更なる情報発信に努めたい。
			協働	長崎街道まつり実行委員会に参加	H24年度	5,000人	H28年度	2,000人	
					H25年度	2,500人			
					H26年度	2,500人			
継続	景観啓発講演会 まちづくり推進課	景観について学び、考えるための講演会を実施します。	子ども		開催数を年間1回以上にする				平成25年度以降講演会は実施できなかったが、機会を捉え実施したい。
			協働	関係団体との共催	H24年度	-	H28年度	未実施	
					H25年度	1回/年			
					H26年度	-			
		H27年度	-						
継続	まちなみの修景 建設課	朝日山自然林の展望の確保や、駅前・本通筋商店街等に花植えを設置する等、身近な修景場所を演出します。	子ども		毎年度実施する				観光地の魅力として、朝日山からの展望確保は必要である。また、市民に花やみどりによる癒しをもたらしているため、今後も継続して行ってきたい。
			協働		H24年度	実施	H28年度	実施	
					H25年度	実施			
					H26年度	実施			
		H27年度	実施						
継続	鳥栖のまちづくりと歴史・文化講座 生涯学習課	座学と現地見学による講座を年間10回程度開催し、鳥栖の歴史と文化遺産について学び、歴史的遺産の保存活用を進めます。	子ども		参加者数を年間350人以上にする				年間計画に基づき、講座を開催している。継続的な参加者に加え、新規の参加もみられる。
			協働	鳥栖のまちづくりと歴史・文化講座実行委員会への委託	H24年度	374人	H28年度	350人	
					H25年度	301人			
					H26年度	261人			
		H27年度	280人						
継続	郷土資料講座 生涯学習課	江戸時代の古文書を解説する講座2コースを毎月2回程度開催し、鳥栖の歴史・文化に触れる機会とします。	子ども		参加者数を年間500人以上にする				年間計画に基づき、講座を開催している。継続的な参加者に加え、新規の参加もみられる。
			協働	鳥栖郷土研究会からの講師派遣	H24年度	568人	H28年度	310人	
					H25年度	390人			
					H26年度	380人			
		H27年度	310人						
継続	文化財成果展 生涯学習課	発掘調査や指定文化財等についての展示会を年に1~2回程度開催し、歴史文化遺産の保存活用を進めます。	子ども		参加者数を年間200人以上にする				市立図書館に常設展示場を確保した。年間を通して適宜展示の入れ替えを行うことで、様々な内容の展示を継続して実施し文化財の活用にも努めている。
			協働		H24年度	-	H28年度	1,000人	
					H25年度	450人			
					H26年度	800人			
		H27年度	1,000人						
継続	ふるさと元気塾 生涯学習課	勝尾城筑紫氏遺跡等の文化財や自然環境を活かしたまちづくりを進めるため、その担い手となるボランティアガイドやアドバイザーを養成します。	子ども		参加者数を年間250人以上にする				ボランティアガイドの育成や勝尾城筑紫氏遺跡の見学会でのガイド、弥生まつりや山の日のイベントなど様々な行事で鳥栖の文化財の紹介ならびに啓発に努めている。
			協働	ボランティア団体へ委託	H24年度	300人	H28年度	250人	
					H25年度	250人			
					H26年度	250人			
		H27年度	250人						
継続	勝尾城筑紫氏遺跡保存整備 生涯学習課	勝尾城筑紫氏遺跡の保存及び整備活用を、史跡と自然環境が調和した形で進め、年に2回史跡見学会を開催します。	子ども		参加者数を年間200人以上にする				史跡の適切な保存・管理を行うため、平成24年度に策定した『整備基本計画』に沿った整備活用を進める上で、計画的に公有化を行っている。
			協働	史跡の管理委託、ボランティア団体による案内、実行委員会	H24年度	173人	H28年度	80人	
					H25年度	207人			
					H26年度	174人			
		H27年度	105人						

◆ポイ捨てや不法投棄対策の推進

状況	事業名 担当課	事業内容	取組で重視する3つの視点		H28年度までの目標				事業評価
			項目	内容	過去の実績				
継続	道路の清掃美化活動 環境対策課	市民や事業者に参加を呼びかけ、道路の清掃美化活動を行います。	子ども	街なみに対する美化意識を育む	参加者数を年間1,200人以上にする				H25年度とH27年度は、3回実施し、H24年度とH26年度は2回実施した。スポーツごみ拾いなど、楽しくごみ拾いが出来るイベントにも継続して力を入れていきたい。
			協働	鳥栖市環境保全協議会と共催	H24年度	554人	H28年度	560人	
			情報	市報、ホームページ、窓戸回覧、窓口にチラシ設置	H25年度	696人			
子ども		不法投棄件数を年間50件以下にする				不法投棄の発覚件数が減少したものの、発覚していない不法投棄は多数あると考えられるため、今後も警察等の関係機関と協力して不法投棄防止の雰囲気をつくっていききたい。			
協働	佐賀県廃棄物監視員と同行	H24年度	23件	H28年度	31件（1月末現在）				
情報		H25年度	40件				H26年度	88件	H27年度
子ども		毎年度実施する				ボランティア用ごみ袋の配布数はおおむね一定である。地域の美化に貢献する事業等で今後も続けていきたい。			
協働	ボランティア団体等への配布	H24年度	実施	H28年度	実施				
情報		H25年度	実施				H26年度	実施	H27年度
子ども	街なみに対する美化意識を育む	毎年度実施する				H24年度にスタジアム周辺で行ったが、それ以降は実施していなかった。今後は、ポイ捨て防止の啓発方法を考えていく必要がある。			
協働	鳥栖市環境保全協議会と共催	H24年度	実施	H28年度	実施予定				
情報	窓口に活動状況の掲示	H25年度	未実施				H26年度	未実施	H27年度
子ども		毎年度実施する				ポイ捨て防止啓発看板やフロアサインシートは市内の公園等に設置が完了したため、今後は、引き続き、不法投棄防止を目的とした看板の設置や配布を行っていく。			
協働		H24年度	実施	H28年度	実施				
情報	市報・ホームページ	H25年度	未実施				H26年度	実施	H27年度
子ども		毎年度実施する				環境月間に清掃活動実施報告書を各事業から出してもらっていた。平成27年度は実施していなかったが、今後も継続していききたい。			
協働		H24年度	実施	H28年度	実施				
情報	ホームページ	H25年度	実施				H26年度	実施	H27年度
子ども	街なみに対する美化意識を育む	登録団体数を18団体以上にする				平成28年度目標の18団体は達成していますが、引き続き平成29年度目標の19団体に向けて、市報、ホームページ等で周知していききたい。			
協働	アダプト制度	H24年度	12団体	H28年度	17団体				
情報	市報、ホームページ	H25年度	15団体				H26年度	16団体	H27年度

【取組の柱4 住環境を守る】

◆住環境への負荷の削減

状況	事業名 担当課	事業内容	取組で重視する3つの視点		H28年度までの目標				事業評価
			項目	内容	過去の実績				
継続	環境保全協定	事業者と環境保全協定を締結し、大気汚染や騒音等の公害防止を推進します。	子ども		毎年度実施する				環境保全協定の締結を要望する事業者がある場合は、その都度、環境保全協定を締結している。公害防止の観点からも有用なので、今後も続けていく。
	協働			H24年度	実施3社	H28年度	実施3社		
	情報			H25年度	実施1社				
		H26年度	実施3社						
		H27年度	実施3社						
継続	主要幹線道路の整備促進	主要幹線道路（国道3号、国道34号、その他主要県道）の整備を、国や県へ働きかけていきます。	子ども		毎年度実施する				毎年実施することにより、交通渋滞の緩和等の交通環境を改善し、大気汚染等の環境改善に寄与するため、今後も継続していく。
	協働		地元期成会に参加	H24年度	実施	H28年度	実施		
	情報			H25年度	実施				
		H26年度	実施						
		H27年度	実施						

◆大気・騒音などの調査・監視

状況	事業名 担当課	事業内容	取組で重視する3つの視点		H28年度までの目標				事業評価
			項目	内容	過去の実績				
継続	大気環境調査・監視	大気質等の環境調査を定期的実施し、大気環境の監視を行います。	子ども		毎年度実施する				毎年実施しており、結果は鳥栖の環境としてホームページで公開している。環境保全のためにも必要なので、今後も継続していきたい。
	協働			H24年度	実施	H28年度	実施		
	情報		ホームページ	H25年度	実施				
		H26年度	実施						
		H27年度	実施						
継続	騒音環境調査・監視	市内の沿道等において騒音・振動・交通量等の環境調査を実施し、騒音環境の監視を行います。	子ども		毎年度実施する				毎年実施しており、結果は鳥栖の環境としてホームページで公開している。環境保全のためにも必要なので、今後も継続していきたい。
	協働			H24年度	実施	H28年度	実施		
	情報		ホームページ	H25年度	実施				
		H26年度	実施						
		H27年度	実施						

◆エコドライブやエコカーの普及

状況	事業名 担当課	事業内容	取組で重視する3つの視点		H28年度までの目標				事業評価
			項目	内容	過去の実績				
継続	電気自動車「ビートス号」のPR	各種イベントの公用車として電気自動車「ビートス号」を利用することで、電気自動車のPRを行います。	子ども		毎年度実施する				ビートス号導入時と比べて、電気自動車やそのスタンドの普及が進んでいることから、電気自動車のPRに一定の効果があった。今後もイベント時には利用していきたい。
	協働		小学生からデザインを募集	H24年度	実施	H28年度	実施		
	情報		ホームページ	H25年度	実施				
		H26年度	実施						
		H27年度	実施						
継続	とっちゃんのエコライフのススメ	市報やホームページの「とっちゃんのエコライフのススメ」のコーナーで、アイドリングストップ等エコドライブの方法を紹介しします。	子ども		市報掲載数を年間12回以上にする				今年度も引き続き、毎月の市報に掲載している。環境対策課窓口でも展示しているので、一定の広報効果はあると考えている。今後も続けていきたい。
	協働			H24年度	12回	H28年度	12回予定		
	情報		市報、ホームページ、窓口に掲示	H25年度	12回				
		H26年度	12回						
		H27年度	12回						

◆公共交通や自転車などの利用促進

状況	事業名	事業内容	取組で重視する3つの視点		H28年度までの目標				事業評価
	担当課		項目	内容	過去の実績				
廃止	[廃止] 鳥栖市特別乗車 事業	交通渋滞の緩和と、高齢者の移動手段の確保のため、高齢者に対し西鉄バス佐賀が運行する市内路線バスの乗車を無料にします。	子ども		H24年9月まで実施する				H24年10月より「福祉乗車券助成事業」を開始したため廃止した。
	協働			H24年度	48人	H28年度	-		
				H25年度	-				
情報	ホームページ	H26年度	-						
		H27年度	-						
継続	福祉乗車券助成 事業	H24年10月から75歳以上と70歳以上の免許証返納者に対して、市内全ての路線バスとミニバスに利用できる乗車券を割安で発行し、高齢者の移動手段の確保とバス利用を促進します。	子ども		利用者数を800人以上にする				H25年度までを試用期間としていたが、H26年度から市内全路線を対象とし、本格実施している。今後も高齢者の移動手段の確保のため継続して実施する。
	協働			H24年度	550人	H28年度	1120人 (1月末現在)		
				H25年度	705人 703人				
	情報		市報、ホームページ、 郵送、バス内に掲示	H26年度	759人 862人				
		H27年度	967人 992人						
継続	道路新設改良 建設課	改修する際は、歩行者や自転車の歩行・走行環境に配慮した道路整備を進めます。	子ども		H28年度まで実施する				市道大刀洗・立石線等の整備により、歩行者や自転車の安全性や通行性が確保された。今後も、必要な路線においては、歩行・走行環境に配慮して道路整備を進める。
	協働			H24年度	実施	H28年度	実施		
				H25年度	実施				
	情報			H26年度	実施				
		H27年度	実施						
継続	路線バスの利用 促進 国道・交通対策課	路線バス利用を促進することで、交通渋滞の緩和等、交通環境を改善し、大気汚染や騒音等の公害防止策に寄与します。	子ども		利用者数を年間12.0万人以上にする				路線バス利用を促進することで、交通渋滞の緩和等、交通環境を改善し、大気汚染や騒音等の公害防止に一定の成果があり、今後も継続が必要と考える。
	協働			H24年度	9.2万人	H28年度	10.9万人		
				H25年度	10.1万人				
	情報		市報、ホームページ、 広報紙	H26年度	10.3万人				
		H27年度	10.8万人						
継続	ミニバスの利用 促進 国道・交通対策課	ミニバス利用を促進することで、交通渋滞の緩和等、交通環境を改善し、大気汚染や騒音等の公害防止策に寄与します。	子ども		利用者数を年間10.0千人以上にする				ミニバス利用を促進することで、交通渋滞の緩和等、交通環境を改善し、大気汚染や騒音等の公害防止に一定の成果があり、今後も継続が必要と考える。
	協働			H24年度	11.1千人	H28年度	19.9千人		
				H25年度	17.5千人				
	情報		市報、ホームページ、 広報紙	H26年度	19.1千人				
		H27年度	18.6千人						

【取組の柱5 地球温暖化を防ぐ】

◆「鳥栖市地球温暖化対策実行計画 区域施策編」の策定・運用

状況	事業名 担当課	事業内容	取組で重視する3つの視点		H28年度までの目標				事業評価
			項目	内容	過去の実績				
継続	鳥栖市地球温暖化対策実行計画 区域施策編の策定・運用 環境対策課	鳥栖市地球温暖化対策実行計画 区域施策編を策定・運用します。	子ども		毎年度実施する				計画は平成24年度に策定した。計画に掲げられている項目の中で、実行できていないものがあるので、改善を図ってきたい。
			協働		H24年度	計画策定	H28年度	実施	
			情報	ホームページ	H25年度	実施			
					H26年度	実施			
		H27年度	実施						

◆エコライフの推進

状況	事業名 担当課	事業内容	取組で重視する3つの視点		H28年度までの目標				事業評価
			項目	内容	過去の実績				
継続	ISO奨励金の交付 商工振興課	ISOの認証及びエコ・オフィスの認定を受けた市内に本社を有する中小企業者に対し、奨励金を交付します。	子ども		毎年度実施する				近年は交付実績がないものの、市内企業の環境意識を図るうえで、本制度は必要であることから継続していきたい。
			協働	対象企業への補助	H24年度	実施0社	H28年度	実施0社	
			情報		H25年度	実施0社			
					H26年度	実施0社			
		H27年度	実施0社						
継続	エコアクション21説明会 環境対策課	事業者に対し、中小企業でも比較的取り組みやすいエコアクション21を普及啓発するため、説明会を行います。	子ども		開催数を年間2回以上にする				説明会は、県主催で、鳥栖市でもH26年度まで開催していたが、H27年度からは佐賀市でしか開催をしていないので、今後は事業者エコアクション21の広報周知を行う。
			協働		H24年度	1回	H28年度	中止	
			情報	市報、ホームページ、企業へ案内郵送	H25年度	1回			
					H26年度	1回			
		H27年度	中止						
継続	環境保全協定 環境対策課	事業者と環境保全協定を締結し、地球温暖化防止を推進します。	子ども		毎年度実施する				環境保全協定の締結を要望する事業者がある場合は、その都度、環境保全協定を締結している。今年度は現在の所、3社と協定を締結している。
			協働		H24年度	実施3社	H28年度	実施3社	
			情報		H25年度	実施1社			
					H26年度	実施3社			
		H27年度	実施1社						
継続	とっとちゃんのエコライフのススメ 環境対策課	市報やホームページの「とっとちゃんのエコライフのススメ」のコーナーで、節電の方法等環境に配慮した行動を紹介します。	子ども		市報掲載数を年間12回以上にする				今年度も引き続き、毎月の市報に掲載している。環境対策課窓口でも展示しているので、一定の広報効果はあると考えている。今後も続けていきたい。
			協働		H24年度	12回	H28年度	12回予定	
			情報	市報、ホームページ、窓口に掲示	H25年度	12回			
					H26年度	12回			
		H27年度	12回						

◆省エネ製品や、環境に配慮した建物の普及

状況	事業名 担当課	事業内容	取組で重視する3つの視点		H28年度までの目標				事業評価
			項目	内容	過去の実績				
廃止	[廃止] 住宅用太陽光発電システム設置費補助 商工振興課	住宅用太陽光発電システム設置費の一部を補助します。→導入コストが下がってきていることと、補助実施前と実施後で、設置件数の顕著な増加は見られなかったため廃止。	子ども		H24年度のみ実施する				導入コストが下がっていること、及び、補助実施前と実施後で設置件数の顕著な増加は見られなかったことから、H24年度のみ実施となっています。
			協働		H24年度	179件	H28年度	-	
			情報	市報、ホームページ	H25年度	廃止			
					H26年度	-			
		H27年度	-						
継続	とっとちゃんのエコライフのススメ 環境対策課	市報やホームページの「とっとちゃんのエコライフのススメ」のコーナーで、省エネ製品を紹介しています。	子ども		市報掲載数を年間12回以上にする				今年度も引き続き、毎月の市報に掲載している。環境対策課窓口でも展示しているので、一定の広報効果はあると考えている。今後も続けていきたい。
			協働		H24年度	12回	H28年度	12回予定	
			情報	市報、ホームページ、窓口に掲示	H25年度	12回			
					H26年度	12回			
		H27年度	12回						

◆環境に優しい移動手段の普及

状況	事業名 担当課	事業内容	取組で重視する3つの視点		H28年度までの目標				事業評価
			項目	内容	過去の実績				
廃止	鳥栖市特別乗車事業 社会福祉課	交通渋滞の緩和と、高齢者の移動手段の確保のため、高齢者に対し西鉄バス佐賀が運行する市内路線バスの乗車を無料にします。→H24年10月より「福祉乗車券助成事業」を開始したため廃止	子ども		H24年9月まで実施する				H24年10月より「福祉乗車券助成事業」を開始したため廃止した。
			協働		H24年度	48人	H28年度	-	
			情報	ホームページ	H25年度	廃止			
		H26年度	-	H27年度	-				
継続	福祉乗車券助成事業 社会福祉課	H24年10月から75歳以上と70歳以上の免許証返納者に対して、市内全ての路線バスとミニバスに利用できる乗車券を割安で発行し、高齢者の移動手段の確保とバス利用を促進します。	子ども		利用者数を800人以上にする				H25年度までを試用期間としていたが、H26年度から市内全路線を対象とし、本格実施している。今後も高齢者の移動手段の確保のため継続して実施する。
			協働		H24年度	550人	H28年度	1120人 (1月末現在)	
			情報	市報、ホームページ、郵送、バス内に掲示	H25年度	705人 703人			
					H26年度	759人 862人			
					H27年度	967人 992人			
継続	路線バスの利用促進 国道・交通対策課	路線バス利用を促進することで、交通渋滞の緩和等、交通環境を改善し、大気汚染や騒音等の公害防止策に寄与します。	子ども		利用者数を年間12.0万人以上にする				路線バス利用を促進することで、交通渋滞の緩和等、交通環境を改善し、大気汚染や騒音等の公害防止に一定の成果があり、今後も継続が必要と考える。
			協働		H24年度	9.2万人	H28年度	10.9万人	
			情報	市報、ホームページ、広報紙	H25年度	10.1万人			
					H26年度	10.3万人			
					H27年度	10.8万人			
継続	ミニバスの利用促進 国道・交通対策課	ミニバス利用を促進することで、交通渋滞の緩和等、交通環境を改善し、大気汚染や騒音等の公害防止策に寄与します。	子ども		利用者数を年間10.0千人以上にする				ミニバス利用を促進することで、交通渋滞の緩和等、交通環境を改善し、大気汚染や騒音等の公害防止に一定の成果があり、今後も継続が必要と考える。
			協働		H24年度	11.1千人	H28年度	19.9千人	
			情報	市報、ホームページ、広報紙	H25年度	17.5千人			
					H26年度	19.1千人			
					H27年度	18.6千人			

【取組の柱6 ごみを減らす】

◆4R運動の推進

状況	事業名 担当課	事業内容	取組で重視する3つの視点		H28年度までの目標			事業評価
			項目	内容	過去の実績			
継続	とっとちゃんの ごみ減量速報！！	ごみの排出量抑制と資源物回収の徹底を図るため、1人当たりごみ排出量と資源物の回収量を市報等で広報します。	子ども	市報、ホームページ	市報掲載数を年間12回以上にする			毎月市報に掲載している。とっとちゃんのエコライフと共に、環境保全の意識向上に一定の効果があると考えている。
	協働		H24年度		12回	H28年度	12回予定	
	環境対策課		情報		H25年度			
H26年度		12回						
環境対策課	情報	H27年度	12回					
継続	電動生ごみ処理機購入補助	電動生ごみ処理機の購入費の一部を補助します。	子ども	市報、ホームページ	毎年度実施する			申込多数で、抽選になる年もあるため、一定の需要がある。H28年度からは、新たにコンポストやディスクオーガーも補助対象に加えるため、ごみ減量効果が高まる。
	協働		H24年度		15件補助	H28年度	28件	
	環境対策課		情報		H25年度			
H26年度		15件補助						
環境対策課	情報	H27年度	15件補助					
継続	ごみ減量化検討部会	鳥栖市、上峰町、みやき町で構成されるごみ減量化検討部会において、資源物の分別等の基本施策の推進方法、ごみ発生抑制のための施策の検討等を協議します。	子ども	上峰町、みやき町と情報交換	開催数を年間4回以上にする			生ごみの水切り啓発ポスターの全戸回覧等、ごみ減量の意識向上に一定の効果をもたらせたと考えている。
	協働		H24年度		5回	H28年度	2回	
	環境対策課		情報		H25年度			
H26年度		3回						
環境対策課	情報	H27年度	7回					
継続	環境保全協定	事業者と環境保全協定を締結し、廃棄物の適正処理や資源物の分別収集を推進します。	子ども		毎年度実施する			環境保全協定の締結を要望する事業者がある場合は、その都度、環境保全協定を締結している。公害防止の観点からも有用なので、今後も続けていく。
	協働		H24年度		実施3社	H28年度	実施3社	
	環境対策課		情報		H25年度			
H26年度		実施3社						
環境対策課	情報	H27年度	実施1社					
継続	市民活動団体等が行うイベントへの後援	フリーマーケット、環境講演会等、市民活動団体等が開催する各種イベントを後援します。	子ども	市民活動団体等への後援	毎年度実施する			市民活動団体主催のフリーマーケットや鳥栖・三養基西部環境施設組合主催の環境フェアに後援を行った。今後も続けていきたい。
	協働		H24年度		実施3回	H28年度	実施3回	
	環境対策課		情報		H25年度			
H26年度		実施1回						
環境対策課	情報	H27年度	未実施					
継続	エコ・ショップまたはエコ・オフィスの指定	環境保全の取組に関し、指定要件を満たしている市内の店舗・事業者を、エコ・ショップまたはエコ・オフィスとして指定します。	子ども	ホームページ	指定件数を24件以上にする			目標値は達成したものの、エコ・オフィスの更新を辞退する事業所も出てきたので、エコ・オフィスの広報周知を図っていきたい。
	協働		H24年度		19件	H28年度	26件	
	環境対策課		情報		H25年度			
H26年度		25件						
環境対策課	情報	H27年度	26件					
継続	マイバッグ・ノーレジ袋の推進	マイバッグの利用推進やレジ袋利用の削減のため、小売業者等に普及啓発を行います。	子ども	ホームページ	マイバッグ・ノーレジ袋推進店の登録件数を15件以上にする			県が主導して行っている施策であり、市としても今後も、ホームページや事業者に対して広報周知を行っていきたい。
	協働		H24年度		8件	H28年度	6件	
	環境対策課		情報		H25年度			
H26年度		6件						
環境対策課	情報	H27年度	6件					

◆資源回収の推進

状況	事業名 担当課	事業内容	取組で重視する3つの視点		H28年度までの目標			事業評価
			項目	内容	過去の実績			
継続	コンテナ収集・美化活動推進奨励金	各町区で実施する資源物コンテナ収集や、美化活動に対して奨励金を交付します。	子ども		交付世帯数を26,000世帯以上にする			市の人口が増加しているため、交付世帯数も増加している。町区の美化活動を推進していく意味で、今後も事業を継続していきたい。
	協働		H24年度		24,200世帯	H28年度	25,029世帯	
	環境対策課		情報		H25年度			
H26年度		24,025世帯						
環境対策課	情報	H27年度	24,037世帯					
継続	資源回収推進奨励金	市民団体が実施する資源回収活動に対して奨励金を交付します。	子ども	市民団体への奨励金交付	資源回収団体数を100団体以上にする			資源回収団体数はある程度増えたので、今後は、資源回収団体の広報を行い、多くの人に参加・利用してもらえる環境作りが課題である。
	協働		H24年度		92団体	H28年度	93団体	
	環境対策課		情報		H25年度			
H26年度		92団体						
環境対策課	情報	H27年度	92団体					

◆ごみ処理に関する新たな取組の検討

状況	事業名 担当課	事業内容	取組で重視する3つの視点		H28年度までの目標			事業評価
			項目	内容	過去の実績			
継続	ごみ減量化検討部会	鳥栖市、上峰町、みやき町で構成されるごみ減量化検討部会において、資源物の分別等の基本施策の推進方法、ごみ発生抑制のための施策の検討等を協議します。	子ども	上峰町、みやき町と情報交換	毎年度実施する			生ごみの水切り啓発ポスターの全戸回覧等、ごみ減量の意識向上に一定の効果をもたらせたと考えている。
	協働		H24年度		実施	H28年度	2回	
	環境対策課		情報		H25年度			
H26年度		実施						
環境対策課	情報	H27年度	実施					

【取組の柱7 行動する人を育てる】

◆ライフステージや立場に応じた環境教育の実施

状況	事業名 担当課	事業内容	取組で重視する3つの視点		H28年度までの目標				事業評価
			項目	内容	過去の実績				
継続	出前講座の受付 市民協働推進課	環境に関する出前講座の依頼があった際は、職員を派遣し充実した講座を行います。	子ども		毎年度実施する				環境保全の取組意識を高めていくきっかけとなっているため、今後も続けていきたい。
			協働		H24年度	0件	H28年度	実施 (環境に関する講座1件)	
			情報	ホームページ	H25年度	3件			
		H26年度	3件						
		H27年度	16件						
継続	地区組織（食生活改善）活動 健康増進課	小学校やまちづくり推進センターなどで、食糧資源を大切にし、ごみを少なくする意識を普及します。	子ども	調理実習を通して食に対する意識を育む	親子料理教室開催数を8回以上、地区伝達の実施数を14回以上にする				調理実習の中で、同じお湯で何種類もの野菜をゆでるコツや生ごみに水切りを伝えている。
			協働	食生活改善推進協議会に委託	H24年度	親8, 地14	H28年度	親8, 地16	
			情報		H25年度	親8, 地14			
		H26年度	親8, 地14						
		H27年度	親8, 地16						
継続	ヘルスマイト養成講座での環境教育 健康増進課	主に健康をテーマとするヘルスマイト養成講座の中で、リサイクル推進やオゾン層の保護等についての環境教育を行います。	子ども		毎年度実施する				毎年環境対策課に依頼している。すぐに実践できる内容で分かりやすく講義しており、参加者にも好評で今後も継続したい。
			協働		H24年度	参加18名	H28年度	参加7名	
			情報	市報	H25年度	参加15名			
		H26年度	参加10名						
		H27年度	参加7名						
一部修正	食育推進計画の推進 健康増進課	保育所・幼稚園、小学校で、食についての様々な体験活動や地産地消に関する情報提供等の取組を行い、食育に関する意識・知識を普及します。 市内小学校で、自分の生活習慣を見直し、望ましい食習慣の確立を図るために「うら健康マイレージクラブ（子ども版）」を実施します。	子ども	農作業等を通して命の大切さを学ぶ 生活習慣を見直し、望ましい食習慣の確立を図る	毎年度実施する				各小学校で食育に関する事業を実施しているためH28年度より中止。 平成25年度より小学5年生のみ実施、平成26年度から全学年実施している。
			協働		H24年度	34回	H28年度	実施	
			情報	チラシ配布	H25年度	8回			
		H26年度	8回						
		H27年度	8回						
継続	環境問題講座の開催 市民協働推進課	まちづくり推進センター主催事業として、環境問題をテーマとする講座を開催します。	子ども	環境に対する理解を深める	開催数を年間7回以上にする				環境保全への取組意識を高めていくきっかけとなっているため、今後も続けていきたい。
			協働		H24年度	6回	H28年度	16回実施 予定	
			情報	市報、まちづくり推進センターだより	H25年度	5回			
		H26年度	6回						
		H27年度	11回						
継続	子どもを対象とした環境問題教室の開催 市民協働推進課	放課後子ども教室の一部で、環境問題をテーマとする教室を開催します。	子ども	環境に対する理解を深める	開催数を年間7回以上にする				環境保全への取組意識を高めていくきっかけとなっているため、今後も続けていきたい。
			協働		H24年度	1回	H28年度	11回実施 予定	
			情報	市報、まちづくり推進センターだより	H25年度	1回			
		H26年度	2回						
		H27年度	7回						
継続	自然学習の体験活動 生涯学習課	市村自然塾九州の協力を得て、子どもたちを対象にもものづくりの楽しさや豊かな自然を体験する宿泊自然体験学習を実施します。	子ども	ものづくりの楽しさや自然を守る意識を育む	開催数を年間1回以上にする				子どもたちに、ものづくりの楽しさを感じてもらい、河内町の豊かな自然を体験してもらうことで、自然を守っていく意識を育んだ。今後も事業を継続していきたい。
			協働	市村自然塾九州と共催	H24年度	1回	H28年度	1回	
			情報		H25年度	1回			
		H26年度	1回						
		H27年度	中止						

◆教育現場における環境教育の推進

状況	事業名 担当課	事業内容	取組で重視する3つの視点		H28年度までの目標				事業評価
			項目	内容	過去の実績				
継続	地球温暖化講座	市内の全小学校において、地球温暖化の仕組みや対策を紹介する講座を行います。	子ども	地球温暖化への理解を深め、行動に結びつける	開催数を年間8回以上にする				講座を受ける生徒の反応も良く、各家庭にも地球温暖化防止の意識が広まっていると考えている。今後も事業を継続していきたい。
	協働			H24年度	8回	H28年度	8回		
	情報		報道機関への情報提供	H25年度	8回				
		H26年度	8回						
		H27年度	8回						
継続	職場体験学習の受入れ	中学校等から、資源物回収等の職場体験学習を受け入れます。	子ども	環境保全の意識を育む	毎年度実施する				職場体験では、中学生が、働くことの意義を学ぶだけではなく、環境を守る意識も育まれている。今後も可能な限り、受け入れを行っていきたい。
	協働			H24年度	5名	H28年度	6名		
	情報			H25年度	6名				
		H26年度	7名						
		H27年度	4名						
継続	ポスターコンクール	小学生、中学生を対象に環境保全と3R促進に関するポスターを募集します。	子ども	環境保全の意識を育む	毎年度実施する				環境保全の雰囲気も熟成されることから、今後も事業を継続していきたい。
	協働		鳥栖市環境保全協議会と共催	H24年度	735名	H28年度	551名		
	情報		市報、入選作を市役所で展示	H25年度	803名				
		H26年度	586名						
		H27年度	615名						
継続	自然に感動する心を育む教育	総合的な学習、特別活動、学校行事等で行われている自然体験活動、環境に関わる奉仕活動を、継続して取り組むよう各学校を指導します。	子ども	体験を通じて自然に感動する心を育む	毎年度実施する				今後も総合的な学習、自然体験活動等で、事業を継続していきたい。
	協働			H24年度	実施	H28年度	実施		
	情報			H25年度	実施				
		H26年度	実施						
		H27年度	実施						
継続	環境教育に関わる情報の提供	環境教育に関わる情報を収集し、各教科の環境学習に役立ててもらえるよう、各学校に提供します。	子ども	環境に関心をもってもらう	毎年度実施する				今後も各教科の環境学習に役立つよう、各学校へ情報を提供していきたい。
	協働			H24年度	実施	H28年度	実施		
	情報			H25年度	実施				
		H26年度	実施						
		H27年度	実施						

◆環境教育の拠点づくり

状況	事業名 担当課	事業内容	取組で重視する3つの視点		H28年度までの目標				事業評価
			項目	内容	過去の実績				
継続	まちづくり推進センターにおける環境教育の場の提供	環境教育をはじめとする生涯学習の場として、まちづくり推進センターの活用を進めます。	子ども		毎年度実施する				多くの方々を利用するまちづくり推進センターにおいて、環境をテーマとした講座や教室を定期的実施することで、地域における環境教育の拠点としての機能を担う事ができた。
	協働			H24年度	実施	H28年度	実施		
	情報		ホームページ、まちづくり推進センター利用の手引き	H25年度	実施				
		H26年度	実施						
		H27年度	実施						
継続	図書館視聴覚室における環境教育の場の提供	環境関連をはじめとする講演会の場として、視聴覚室の活用を進めます。	子ども		毎年度実施する				読書施設としての機能だけではなく、環境関連の学習の場として、視聴覚室、集会室等の利用を提供していきたい。
	協働			H24年度	実施	H28年度	未実施		
	情報		ホームページ	H25年度	実施				
		H26年度	実施						
		H27年度	実施						

◆環境情報の提供体制の充実

状況	事業名 担当課	事業内容	取組で重視する3つの視点		H28年度までの目標				事業評価
			項目	内容	過去の実績				
継続	環境レポートの作成	環境レポートを作成します。	子ども		毎年度実施する				環境基本計画の進捗状況を環境レポートとして報告しているが、作成に時間がかかるため、今後は早めにホームページに掲載していきたい。
	協働			H24年度	作成準備	H28年度	準備中		
	情報		ホームページ	H25年度	実施				
		H26年度	実施						
		H27年度	実施						

【取組の柱8 環境を守る取組を応援する】

◆市民活動団体が行う環境保全取組の応援

状況	事業名 担当課	事業内容	取組で重視する3つの視点		H28年度までの目標				事業評価
			項目	内容	過去の実績				
継続	市民活動団体ガイドブックの作成 市民協働推進課	市内を中心に活動するNP0やボランティア団体の情報をまとめたガイドブックを作成します。	子ども	市報、ホームページ、窓口及びとす市民活動センターで配布	毎年度実施する				市民活動ガイドブックの作成を行った。市民活動の情報提供を行うことにより、市民活動の機会提供のきっかけとなっているため、今後も続けていきたい。
			協働		H24年度	75団体	H28年度	103団体	
			情報		H25年度	82団体			
H26年度	97団体								
H27年度	102団体								
継続	市民活動支援補助金 市民協働推進課	市民活動団体が自主的かつ主体的に行う公益的な事業に要する経費の一部を補助します。また、事業に対する助言・協力も行います。	子ども	市民活動団体に補助	毎年度実施する				市民活動団体の立ち上がりにおける基盤強化、事業の活性化、協働化を支援するものであり、今後も、続けていきたい。
			協働		H24年度	6事業	H28年度	7事業	
			情報		H25年度	6事業			
H26年度	7事業								
H27年度	5事業								
継続	とす市民活動センターの運営 市民協働推進課	市民相互及び市民と行政との協働によるまちづくりを推進するため、市民活動への参加啓発、市民活動団体形成等、様々な市民活動情報発信基地としての機能充実を図ります。	子ども	市報、ホームページ、全戸回覧	毎年度実施する				広報誌等での市民活動の情報発信、各種事業での市民活動への啓発や団体の育成等を実施し、様々な市民活動情報発信基地として機能している。今後も支援していきたい。
			協働		H24年度	実施	H28年度	実施	
			情報		H25年度	実施			
H26年度	実施								
H27年度	実施								
継続	市民活動団体等が行うイベントへの後援 環境対策課	フリーマーケット、環境講演会等、市民活動団体等が開催する各種イベントを後援します。	子ども	市民活動団体等への後援	毎年度実施する				市民活動団体主催のフリーマーケットや鳥栖・三養基西部環境施設組合主催の環境フェアに後援を行った。今後も続けていきたい。
			協働		H24年度	実施3回	H28年度	実施3回	
			情報		H25年度	実施3回			
H26年度	実施1回								
H27年度	未実施								

◆事業者が行う環境保全取組の応援

状況	事業名 担当課	事業内容	取組で重視する3つの視点		H28年度までの目標				事業評価
			項目	内容	過去の実績				
継続	環境保全等奨励金の交付 商工振興課	「鳥栖市事業所等の立地奨励に関する条例」に基づき、流通業務団地へ進出する流通関連施設設置者が緑地等を整備した場合に奨励金を交付します。	子ども	対象企業に補助	毎年度実施する				企業の進出時期により、交付時期については、偏りがあるものの、ほぼ毎年度交付実績があり、流通業務団地の緑地等の整備に寄与しているものと考えられる。
			協働		H24年度	実施1社	H28年度	実施0社	
			情報		H25年度	実施2社			
H26年度	実施6社								
H27年度	実施1社								
継続	エコ・ショップまたはエコ・オフィスの指定 環境対策課	環境保全の取組に関し、指定要件を満たしている市内の店舗・事業者を、エコ・ショップまたはエコ・オフィスとして指定します。	子ども	ホームページ	指定件数を24件以上にする				目標値は達成したものの、エコ・オフィスの更新を辞退する事業所も出てきたので、エコ・オフィスの広報周知を図っていきたい。
			協働		H24年度	19件	H28年度	26件	
			情報		H25年度	20件			
H26年度	25件								
H27年度	26件								
継続	エコファーマー 農林課	「鳥栖市環境保全型農業推進方針」に基づき、エコファーマーの育成、有機栽培、低農薬栽培等を進めます。	子ども	エコファーマーの取得件数を25件以上にする	エコファーマーの取得件数を25件以上にする				安心して食べることができる農産物を消費者に提供するため、今後も農業者に対して、エコファーマーや有機栽培、低農薬栽培等を周知するように努める。
			協働		H24年度	18件	H28年度	未確定	
			情報		H25年度	34件			
H26年度	37件								
H27年度	36件								

◆鳥栖市環境保全協議会が行う環境保全取組の応援

状況	事業名 担当課	事業内容	取組で重視する3つの視点		H28年度までの目標				事業評価
			項目	内容	過去の実績				
継続	鳥栖市環境保全協議会への補助金交付 環境対策課	生活環境の保全や資源循環型社会の形成を目的とした啓発活動等を行う鳥栖市環境保全協議会に対し、補助金を交付します。	子ども	鳥栖市環境保全協議会へ補助	毎年度実施する				市と環境保全協議会共催の清掃活動等の各種イベントや環境保全の事業は、環境保全の取組意識を高めていくきっかけとなっているため、今後も続けていきたい。
			協働		H24年度	実施	H28年度	実施	
			情報		H25年度	実施			
H26年度	実施								
H27年度	実施								